

## 研究主題「自ら課題に取り組む意欲を育てる道德の時間の工夫

### -キャリア教育の「意思決定能力」にかかわる資料と「心のノート」の活用-

東京都教職員研修センター研修部専門教育向上課

世田谷区立明正小学校 教諭 平山和良

#### I 研究のねらい

東京都教育ビジョン（平成 16 年東京都教育委員会）では、取組の方向 9 に「系統的なキャリア教育で、将来の目的意識や学ぶ意欲を育てる」ことを示している。

小学校学習指導要領解説道德編（平成 11 年文部省）の道德教育改善の基本方針の（ウ）「未来に向けて自らが課題に取り組み、共に考える道德教育の推進」には、「直面する課題や悩みに主体的に取り組み、共に考え、夢や希望をもって、未来に向けて人生や社会を切り拓く実践的な力をはぐくむ指導の充実を図る」とある。また、「すべての子どもたちの職業観・勤労観を育むために」（平成 15 年国立教育政策研究所）では、キャリア教育の「意思決定能力」の説明として、「自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する」とある。児童の課題に対する主体的・積極的な取り組みを目的とする点で、道德教育のねらいとキャリア教育の「意思決定能力」との関連は深いと考える。

そこで、道德の時間において、キャリア教育の「意思決定能力」に視点をあて、指導の工夫を行うことで、児童が自ら課題に取り組む意欲を育てたいと考え、本研究主題を設定した。

#### II 研究の内容と方法

（表 1） 【補助資料 1 参照】

##### 1 基礎研究

##### (1) 学習指導要領、各種答申の分析から

「望ましい勤労観・職業観の育成Ⅲ」（平成 18 年 3 月東京都教育庁指導部）では、「役割」に対する考えが勤労観となり、それを基盤とした職業に対する考え方が職業観につながるとしている。また、キャリア教育の「意思決定能力」との関連では、道德の内容項目として、「低学年 1 - (2) 勤勉努力・粘り強さ」、「高学年 4 - (4) 働くことの意義」が示されている。

そこで、さらにその関連を具現化するために道德の学習指導要領と「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」（平成 16 年国立教育政策研究所）を活用し、キャリア教育の

小学校	高学年
キャリア教育 職業的（進路） 発達を促すために 育成するこ とが期待さ れる具体的 な態度・能 力	学習指導要領  道德の 内容項目
・係活動な どで自分の やりたい 係、やれそ うな係を選 ぶ。	4 - (4) 働くことの意 義を理解し、 社会に奉仕す る喜びを知っ て公共のため に役に立つこ とをする。

「意思決定能力」の内容と道德の内容項目との関連表を作成した。（表 1：小学校高学年の例を一部抜粋）

##### (2) キャリア教育の「意思決定能力」にかかわる資料の選択について

道德の時間でキャリア教育の「意思決定能力」を育成するためには、資料中の登場人物が自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うことやその過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服したことが表れた設定であることが必要である。また児童が直面する課題については、「役割」を果たす上で生じる、学習や生活の問題や悩みが考えられる。そこで、より多くの児童に共通する題材とするために、具体的には清掃作業やスポーツといった学校での係活動や家庭での習い事に関する仕事を職業にした人物の自伝的内容の読み物資料を選択することとした。

### (3) 「心のノート」の特設ページの活用について

「心のノート 小学校5・6年」(平成18年文部科学省)の特設ページ「自分を見つめはぐくみともに生きる」は、自分はどのような生き方を目指すのか、やがてくる進路選択を前に、自分の意思で、自分の望ましい姿やこれからの生き方を思い描き、創造していこうとする意欲を高める内容である。これは、道徳教育とキャリア教育の「意思決定能力」を結ぶ有効な視点であり、本研究との関連は深いといえる。

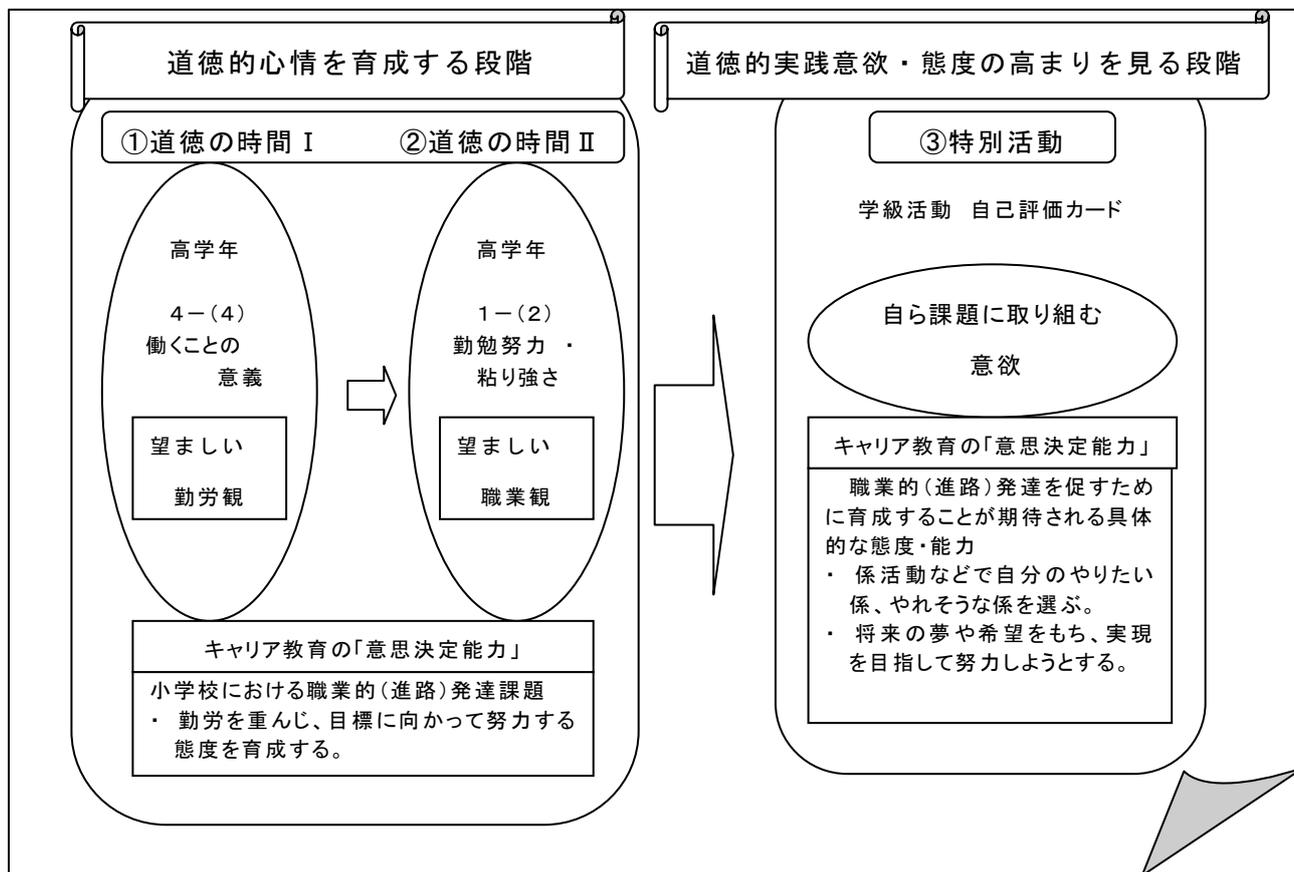
また、本特設ページについて、自分の役割を遂行する中で自分らしさを見出していこうとする記入欄「みがき高める」は、望ましい勤労観が関連すると考える。また、周囲の仕事への関心を高めることで積極的に自己形成していこうとする記入欄「豊かに生きる」は、望ましい職業観が関連すると考え、活用することとした。

## 2 授業研究

### (1) キャリア教育の「意思決定能力」を育成するための指導計画の工夫について

キャリア教育の「意思決定能力」を育成するために、まず、作成した関連表から内容項目を選択し、望ましい勤労観の育成(①)、望ましい職業観の育成(②)をねらいとした道徳の授業を順次実施した。次に、特別活動(③)の学級活動で、「心のノート」の記述を参考に、学期末の自己評価(学習と生活の振り返り)カードを記入する授業を行った。その中で、「あなたは2学期、係や委員会の仕事や学習に対してどのように取り組んでいきたいですか。」という質問に対する児童の具体的な感想をもとに、望ましい勤労観・職業観についての意識がどれだけ高まっているかを考察することとした。(図1)

(図1) キャリア教育の「意思決定能力」を育成する指導計画<6年生の実践例>





また、終末では、望ましい勤労観や職業観にかかわる教師自身の体験を、説話により児童に示した。児童の授業後の感想から、働くことの意義や勤勉努力・粘り強さについての考えの深まりをうかがうことができた。これらのことから、道徳の時間とキャリア教育の「意思決定能力」のねらいを達成する上で、資料の選択が有効であったと考える。

## (2) 「心のノート」の特設ページの活用について

展開後段での、「心のノート」の活用部分において、次のような記述がみられた。(以下、観察対象児 ABC)【補助資料 4 参照】

①記入欄『みがき高める』の記述②記入欄『豊かに生きる』の記述③「心のノート」の特設ページを使った授業後の感想

A 児童	B 児童	C 児童
①委員会の仕事で雑草抜きをしている時に、「いつもがんばってえらいね。」と言われた時、やってよかったな、と思った。	①働くことは大変でも、やりがいを感じて自分も喜ぶことができると分かって楽しかったです。	①掃除の時、算数室の黒板やチョークを友達ときれいにしたら副校長先生に「ありがとう」と言われ、うれしく、達成感があった。
②「目標 500 回」クラスの大きなわをやっていてよかったと思います。最初は 150～200 回しかできなかったけど、休み時間にたくさん練習した 300 回できるようになりました。	②私は俳句を作っています。俳句の中に、自分の気持ちを入れるのが難しく苦勞します。でも友達や先生に褒められると自信をもつことができます。	②誰にでもすてきな夢(目標)があることが分かってよかったと思いました。
③今までより自分の思いが書きやすかった。	③委員会や縦割りの仕事に自信をもってできるようになりました。自分のやったことが人の役に立つと思うとうれしくなるし、もっと仕事をやりたいと思うようになりました。	③今の自分の状態や将来の夢が分かった。どんどん夢に近付けたらいいなと思いました。このページを書き続け、新しい自分を見付けたいです。

内容としては、導入で挙げられた問題や悩みが中心であった。児童相互で課題を共有したことで、現実感を増し、学校や家庭において具体的に係活動や目標をもって努力することに結び付けることができたと考える。

## 2 検証授業後の特別活動(学級活動、1学期の自己評価カード)から

次のような児童の具体的な感想を得ることができた。(以下、観察対象児 ABC)

A 児童	B 児童	C 児童
・二学期は放送委員の副委員長になりたいです。がんばります。	・保健係になって委員会とクラスの両方で保健に関する仕事をがんばりたい。	・積極的に運動会の係に取り組みたい。委員長や係長をやってみたい。

この他にも、学習についての具体的な目標を挙げた記述も見られた。道徳の時間Ⅰと道徳の時間Ⅱを実施している期間の学校生活での様々な学習活動を通して、各児童が自分自身の抱える問題や悩みを振り返り、これからの目標や積極的に取り組もうとする思いについて記述できたものとする。

## IV 研究の成果と今後の課題

児童が自ら課題に取り組む意欲について、キャリア教育の「意思決定能力」を育成する指導計画に基づく授業における児童の記述によってその高まりをみる事ができた。今後も、授業実践によって実施時期に関係なく指導計画に有効性があるかどうかについて検証を続けたい。

小学校高学年については、本研究の授業実践から道徳教育とキャリア教育の「意思決定能力」との関連表が有意義であることを明らかにすることができた。今後は、低学年や中学年でも同様の指導の工夫を行っていきたい。

2つの検証授業の間に行われた中学校訪問での授業参観の感想や、その際に宿泊行事の係について中学生に質問したことを、今回扱った「心のノート」の特設ページの別の記入欄『インタビュー』に書き込む児童もいた。今後は、「心のノート」の特設ページについて進路指導などでの効果的な活用方法を検討していきたい。

**補助資料 1 【道徳教育とキャリア教育の「意思決定能力」との関連表】**

「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」（平成 16 年国立教育政策研究所）を活用し、関連する道徳の内容項目を右側に組み込み、関連表を作成した。（なお、表中の「職業的（進路）発達にかかわる諸能力」について、意思決定能力以外のものを、職業的（進路）発達課題とともに表下に示す。）

職業的（進路）発達にかかわる諸能力		職業的（進路）発達を促すために育成することが期待される具体的な態度・能力					
		小学校低学年		小学校中学年		小学校高学年	
領域説明	能力説明	キャリア教育	道徳内容項目	キャリア教育	道徳内容項目	キャリア教育	道徳内容項目
【意思決定能力】 自らの意思で責任を持って、自ら課題に取り組む。	【選択能力】 様々な選択肢を検討し、適切な判断を行い、決断する能力。	・自分の好きなもの、大切なものをもつ。  ・学校でよいところを分かつ。	4-（1） みんなが物にし、き守り、大切にする。	・自分のやりたいことを考え、決断する。  ・自己抑制する。	1-（4） 正しいことを行おう。  1-（2） よく考え、素直に改める。	・係活動など、自分や他人の係を選ぶ。  ・教師や保護者の話を聞く。	4-（4） とを社仕事にたつこと。 働く意義、奉仕の喜びを知る。 2-（4） 心広げ、異なる意見を受け入れる。
	【課題解決能力】 意思決定に伴って、結果に満足し、課題を乗り越え、進路に向けて、課題を解決する能力。	・自分のことと自分自身を区別し、責任を分かち、決断する。  ・自分の課題を解決する。	1-（2） 自分なりの仕事をしよう。	・自分の責任を最後まで果たす。  ・自分の課題を解決する。	4-（2） 大切で、働くの喜びを知ろう。  1-（3） 自分なりの強さを発揮しよう。	・生活や学習の課題を解決する。  ・将来の夢や希望、目標を掲げ、努力する。	4-（1） 集まる力を加え、主体的に役割を果たす。  1-（2） 高い目標を掲げ、努力する。

**小学校における職業的（進路）発達課題と職業的（進路）発達にかかわる諸能力**

<p>キャリア教育のプログラムの枠組みを見ると、小学校では、発達段階を考慮し、進路の探索・選択にかかわる基礎形成の時期であるとされ、次の4点を重視する必要があるとされる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己及び他者への積極的関心の形成・発展</li> <li>○ 身の回りの職業や環境への関心・意欲の向上</li> <li>○ 夢や希望、憧れる自己イメージの獲得</li> <li>○ 勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度の形成</li> </ul> <p>また、国立教育政策研究所では、職業的（進路）発達課題にかかわる諸能力として、以下の「4領域」と、それに関する「2能力」がそれぞれ説明されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人間関係形成能力 他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。（自他の理解能力、コミュニケーション能力）</li> <li>2 情報活用能力 学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。 （情報収集・探索能力、職業理解能力）</li> <li>3 将来設計能力 夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。 （役割把握・認識能力、計画実行能力）</li> <li>4 意思決定能力（上記参照）（選択能力、課題解決能力）</li> </ol>
--

補助資料2【検証授業の指導例①(第6学年)】

第1時 道徳の資料名「ぼくの仕事は便所そうじ」(「6年生の道徳」文溪堂副読本)

(1) ねらい

- ・ 働くことの意義を理解し社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立とうとする心情を育てる。(道徳の内容項目4-(4)働くことの意義)
- ・ 係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。(キャリア教育の視点)

(2) 資料の内容及び選択の理由

かつて東武動物公園の園長として親しまれていた西山登志雄さんが、上野動物園で初めてした仕事は、便所の掃除であった。嫌々ながらやっていた仕事だが、ある日のおばあさんの言葉をきっかけに、人々に喜んでもらえる便所掃除を目指す話である。

仕事に対する価値観が変化していく西山さんの姿に共感し、すすんで人のために仕事をしようとする気持ちを育てることは、人の役に立つ喜びを感じるという望ましい勤労観(働く喜び)につながると考え、この資料を選択した。

(3) 展開

学 習 活 動	キャリア教育の視点にかかわる留意点
<p>1 生活を振り返り、働くことの大変さを感じた経験について話し合う。</p> <p>○ 学校の委員会や当番、係活動、地域や家庭での活動をして、大変だなあと感じたことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼育委員会のウサギの世話が大変です。</li> <li>・ 地域班で下学年の子と一緒に帰るとき、言うことを聞いてくれないので困る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の日常生活や学習活動での悩みや問題を取り上げ、価値への方向付けをする。</li> </ul>
<p>2 資料を読んで、話し合う。</p> <p>○ 「ぼく」は、どんな気持ちで便所そうじをしていたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぼくのやっていることは本当に役に立っているのだろうか。</li> <li>・ きたないし、楽しくないのでやりたくない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きな仕事ができず、嫌々やっている西山さんの不満に共感し、働くことへの気持ちの変化がより鮮明に感じられるようにする。</li> </ul>
<p>○ おばあさんの「ありがたい。ありがたい。」という言葉聞いて、「ぼく」は、どんな気持ちになったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物の世話がしたかったけど、この仕事にもやりがいを感じた。</li> <li>・ 仕事の喜び、達成感があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事が認められた西山さんの満足感をおさえる。</li> </ul>
<p>◎ 空き缶にペンキを塗っているときの「ぼく」の心の中は、どうだっただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしたらもっとお客さんにきれいに喜んで使ってもらえるかな。</li> <li>・ 仕事への期待感があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合い活動を取り入れ、仕事に誇りを感じるようになっていく様子に気付かせる。また、意見交換をすることで、友達と意見を比較できるようにする。</li> </ul>
<p>3 自分の経験を振り返る。</p> <p>○ 学校の委員会や当番、係活動、地域や家庭での活動をしてやってよかったなど思うことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班長としてみんなに信頼されていると感じたとき</li> <li>・ 掃除など、決められた役割を最後までやり通せたとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の経験を想起させ、心のノートの『みがき高める』欄に記入させる。</li> <li>・ 書いている内容を観察し、意図的指名ができるようにする。</li> </ul>
<p>4 教師の説話を聞く。</p> <p>○ 飼育委員会の話をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共のために働く喜びについての体験談を語り、生活や学習上の取り組みへの実践意欲を高める。</li> </ul>

(4) 評価

- ・ 空き缶にペンキを塗っている西山さんの気持ちに共感することができたか。
- ・ 働く喜びについて、自分の生活と結び付けて考えることができたか。

補助資料3 【検証授業の指導例②(第6学年)】

第2時 道徳の資料名「やさしく強き巨人」(「かがやけみらい5年」学校図書副読本)

(1) ねらい

- ・ より高い目標を立て、困難に負けず、希望と勇気をもって努力する心情を育てる。  
(道徳の内容項目1-(2) 勤勉努力・ねばり強さ)
- ・ 将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。(キャリア教育の視点)

(2) 資料の内容及び選択の理由

スポーツ選手にとって引き際はとても大切であるが、最近では余力を残して引退することが美德とされる傾向がある。ジャイアント馬場さんは、「まだできる」ということにこだわった人であり、その背景にはたゆまぬ努力と節制に努めた日常生活があった。

自分の理想に向かって、他から何を言われようと信念を曲げず仕事を続けた馬場さんの生き方に共感し、努力する気持ちを育てることは、一つの仕事をやり続ける喜びを感じるという望ましい職業観(続ける喜び)につながると考え、この資料を選択した。

(3) 展開

学 習 活 動	キャリア教育の視点にかかわる留意点
<p>1 生活を振り返り、努力することの大変さを感じた経験について話し合う。</p> <p>○ 目標を立てて活動していて、大変だなあと感じたことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算ドリルに毎日取り組んでいるがなかなか仕上がらない。</li> <li>・ 習い事で夜練習しています。次の朝筋肉痛で起きるのが大変です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の道徳同様、児童の日常生活や学習活動での悩みや問題を取り上げ、価値への方向付けをする。</li> </ul>
<p>2 資料を読んで、話し合う。</p> <p>○ プロ野球での挫折、デビュー前の厳しい練習、年齢から他の仕事を勧められたとき、53歳のときのけが、これらの困難な状況で馬場さんはどんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もう二度と、悔しい思いはしたくない。</li> <li>・ どんな決断をしても、絶対後悔はしたくない。</li> </ul> <p>◎ なぜ馬場さんは「生涯現役」にこだわったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応援してくれるファンのためにも続けたい。</li> <li>・ 続けることが自分の喜びにつながることを知っていたから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日記、マラソン、なわとびなど、児童が日々積み重ねている学習を意識させることで、馬場さんの気持ちに共感する。</li> <li>・ 話し合い活動を取り入れ、理想に向けて努力し続けることの素晴らしさに気付かせる。また、意見交換をすることで、友達と意見を比較できるようにする。</li> </ul>
<p>3 自分の経験を振り返る。</p> <p>○ 自分が続けていて、よかったな、と思うことはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サッカーの試合に勝ち、自分に自信をもてた。</li> <li>・ クラスのみんなと練習して、大なわの記録が伸びたとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の経験を想起させ、心のノートの『豊かに生きる』欄に記入させる。</li> <li>・ 書いている内容を観察し、意図的指名ができるようにする。</li> </ul>
<p>4 教師の話を聞く。</p> <p>○ 「初心忘るべからず」という言葉を紹介します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初の夢や目標をもち続ける喜びについての体験談を語り、生活や学習上の取り組みへの実践意欲を高める。</li> </ul>

(4) 評価

- ・ 「生涯現役」にこだわり続けた馬場さんの気持ちに共感することができたか。
- ・ 努力し続ける喜びについて、自分の生活と結び付けて考えることができたか。

## 補助資料4 【「心のノート」の記述例】

### 『みがき高める』

#### なりたい自分に向かうには？の内容

- ・委員会の体育用具の片付けを、みんなで協力すること。
- ・何でもすすんでやる。人のためになるようなことをやる。
- ・いろいろな場所をきれいにし、使いやすようにする。あとでやってよかったなあと思えるようにする。
- ・みんなの役に立つように「働く」こと。
- ・決められた仕事をあきらめずに一生けんめい最後までやる。
- ・みんなに喜んでもらえるようなことをする。
- ・工夫を重ねて、他人に喜んでもらえるように頑張り、自信をもってまずやってみること。

#### 自分の経験を振り返る内容

- ・図書室の本を整理したら、本棚がきれいに見えてよかった。
- ・体育委員でみんなが楽しく遊べるように片付けた。ボールが使いやすくなったと言われた。
- ・委員会の話し合いで、みんなが言うことを聞いてくれるのがうれしい。
- ・ポスターの絵を褒められた。
- ・家の手伝いを自分からすすんでやったこと。
- ・ふろ掃除をしたとき、お父さんが「きれいになって気持ちがいい」と言った。もっときれいにしたいと思った。
- ・整美委員で流し台を掃除している時、「おつかれさま」と言われてうれしかった。
- ・(縦割り班活動の) 班長のぼくを信じて頼ってくれる。うまくみんなをまとめていきたい。
- ・みんなが楽しそうにゲームをしていてこのゲームを考えてよかったと思ううれしかった。
- ・掃除を頑張っているねと言われると、自分はもちろん、周りの人も気持ちよく使えようと思いました。
- ・掃除をしていて、ろう下がきれいになったので、みんなで喜んだ。
- ・生き物係の世話は大変な時もあるけど、カメたちも喜んでくれてやってよかったと思った。
- ・代表委員のあいさつ運動で、はじめは少し大変と思ったが、みんなもあいさつしてくれるようになった。「働く喜び」を感じるようになった。
- ・(ボランティア活動で) ゴミをとっていると「えらいね」と言ってくれること。
- ・地域班の仕事を無事に終えて、お母さん方に「がんばったね」と言われてうれしい。
- ・働くっていうのはつらいと思うけど、仕事の「真理」を知るとつらくない。
- ・給食委員で仕事をしていて、一年生に「大変だね」と言われた。「面白いよ」と言うとき笑ってくれた。

### 『豊かに生きる』

#### あなたにとって「豊かに生きる」とは？の内容

- ・将来の夢のために、勉強の間にサッカーの練習を続けている。
- ・親や姉妹が困っているときに助け、親孝行する。姉妹でも助け合う。
- ・習い事でやっている「合気道」で、つらくても一生けん命に楽しくやること。
- ・サッカーのリフティングで、こつこつやっていたらいつかは最高記録がでるかもしれない。
- ・人に優しく、自分にきびしい人になりたい。
- ・目標を決めて努力することがとても大切だということ。
- ・私は将来小学校の先生になりたいと思っています。だから、学校の授業から、先生のやり方を学んでいます。いろいろな先生のそれぞれのいい所をまねしようと思います。
- ・友達をもつこと。
- ・(教師の説話から) 先生の目標がすごいです。「生がい現役」とは、自分を信じることなのですね。
- ・もっと絵を練習して、みんなが感動するような絵をかきたいです。

#### 自分の経験を振り返る内容

- ・塾のテストで勉強して、クラスが一つ上がった。積極的に勉強するくせがついた。よきライバルができた。
- ・そろばんを習っていて兄に級が追いついたので、やっていたよかったと思いました。
- ・サッカーの自主練習をやっていて、現にうまくなった。いいプレーで褒められた。
- ・空手をやっていて、結果がついてきた。礼儀が身についた。自信をもてるようになった。
- ・空手で、家族に続けてみたらと言われ1級になり、大会にも出た。次は初段を目指す。
- ・テニスで打つことをたくさんしているから、学校の遊びのとき上手にできる。
- ・トレーニングがスキーの試合で役に立ってよかった。
- ・テニスを続けていて、大会でよい成績がとれてうれしかった。
- ・進級するために水泳の練習をやっていて、その年の夏に特1級になれた。
- ・私は小さいときから動物が好きで飼育委員をやっています。うさぎたちがなついてくれてとてもうれしいです。
- ・テストでよい結果がでると勉強してよかったと思う。
- ・ピアノの発表会で曲を弾き終えたとき、みんなに喜んでくれた。幼稚園から続けていてよかったな、やりがいがあるなと思った。
- ・バレエをやっているうまいかないことがあるけど、そのくやしさを乗り越えて、後悔しないように練習を重ね、自分で喜びを導き出したい。